

(様式)

平成25年度 津山市立秀実小学校 学校評価書

校長 本島 眞喜子



1 自己評価

I 評価結果

多くの項目で昨年度よりポイントが上がっており、児童は落ち着いた環境で明るく楽しい学校生活が送れている。児童の自尊感情が高くないのが課題であったが、昨年度に比べて改善が見られている。(詳細は別紙による)

II 分析・改善方策

評価項目に沿って重点を共通理解しながら取り組めた。その結果、A評価が増え成果が上がっている。地域より多くの協力を得ることができた。(詳細は別紙による)

2 学校関係者評価委員会

コミュニティ協議会会長	読み聞かせの会代表	青少年育成指導員
倭文地区歴史と文化を語る会世話役	主任児童委員	PTA会長

3 学校関係者評価

少人数なので個々に行き届いた指導がなされ落ち着いた環境でいる。小さなトラブルもその都度対応ができています。学力向上に向けて課題を整理し、少しずつ結果を出すよう工夫してほしい。地域との連携もよくできている。(詳細は別紙による)

4 来年度の重点取組 (学校評価を踏まえた今後の方向性)

I 確かな学力と自己表現する力の育成 (知育)

- 1 学力向上 (基礎基本の徹底と互いに深め合い高め合いながら思考力・判断力・表現力を養う授業づくり)
- 2 全校一斉のチャレンジタイムの充実 (読書、漢字、計算、視写等)
- 3 学ぶ意欲の向上を図る「秀実学びのフェスティバル」の実施
- 4 読書活動の推進 (さくら文庫、家族読書、読み聞かせ等)

II 豊かな人間性の育成 (徳育)

- 1 縦割り班活動の充実 (高学年のリーダー性を育て協調して活動する場の設定)
- 2 秀実の文化や自然を学ぶ「ふるさと学習」の推進
- 3 コミュニケーション能力の育成 (あいさつ運動の推進、適切な言葉遣いの指導)
- 4 望ましい人権意識の醸成

III 健康安全教育の推進

- 1 健康安全・保健安全指導の充実による危機回避能力の育成
- 2 マラソン大会等の学校行事の充実
- 3 外遊びを奨励する時間の設定
- 4 業間・昼休みを利用した体力づくりの推進

IV 基本的な生活習慣と学習習慣の定着

- 1 保護者と連携した望ましい生活習慣・学習習慣の定着に向けた取組
(「学習の手びき」等の活用、母親委員会と連携したノーメディアの取組)
- 2 明るく潤いのある環境づくりの推進

V 学校・家庭・地域社会の連携を図った信頼され開かれた学校づくり

- 1 教育活動の家庭・地域への積極的発信 (オープン参観日、学校だより等の広報活動、ホームページ)
- 2 地域の教育力 (人・もの・自然) の積極的活用 (生活科、総合的な学習の時間)
- 3 PTAとの積極的な連携 (教育相談、懇談会、PTA活動等)